

施策評価シート

評価年度	平成25年度	事業実施年度	平成24年度	施策主管次長名	協働部次長 天野 達也
施策番号	62	施策名	地域力を高めて安全で安心して暮らせるまち	総合計画掲載頁	130
関係課名	防災安全課、福祉課、産業課、土木管理課、都市整備課				

1. 施策の概要

施策の目的	対象	市民	対象指標名		単位	H23実績	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
			①	人口	人	58,762	59,141	61,400	62,500	63,700	64,700
意 図	安心して暮らせるまちにする		成果指標名	①	犯罪発生件数						
			②	交通人身事故件数							
			③	火災発生件数							
			④								

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
①	犯罪発生件数	件	1,129	1,102	822	805	800	800	800
	指標設定の考え方と把握方法	数値が低いほど安全で安心してくらすことができる。警察から提供							
②	交通人身事故件数	件	292	290	313	300	300	300	300
	指標設定の考え方と把握方法	数値が低いほど安全で安心してくらすことができる。警察から提供							
③	火災発生件数	件	35	25	30	25	25	25	25
	指標設定の考え方と把握方法	数値が低いほど安全で安心してくらすことができる。消防から提供							
④	指標設定の考え方と把握方法								

3. 施策の評価

項目	評価のコメント								
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	自分の身は自分で守るという考え方に立ち、家族ぐるみで防犯対策、防火防災対策や交通マナーの向上に努める。							
	行政	・犯罪、交通死亡事故情報を提供し、防犯、交通安全活動の支援を行う。 ・消防防災設備等の充実と地域の防災力を高めるため自主防災組織への支援を行う。							
達成度評価	近隣との比較	・犯罪発生件数は、近隣も前年と比較し減少しており、本市も同様に減少している。 ・交通人身事故件数は、近隣では増減様々であるが、本市は増加となっている。 ・火災発生件数は、近隣では増減様々であるが、本市は減少している。							
	過去3年間の実績との比較	・犯罪発生件数は、23年は微増したが、平成24年は大幅に27%減少している。 ・交通人身事故件数は、22年、23年は減少傾向にあったが、24年は増加となった。 ・火災発生件数は、23年増加したが、24年は減少している。							
現状と課題	<p>◆防犯では、自主防犯パトロール隊の活動や深夜防犯パトロール事業の効果も含め、犯罪件数は減少したが、自動車関連窃盗の犯罪率は県内で4位で、予断を許さない状況であり、今後も自主防犯パトロール隊への支援、防犯カメラの設置支援等を行う必要がある。</p> <p>◆交通安全では、交通安全教室、立哨活動、店頭広報等の実施、防火では、消防団の巡回啓発、女性消防団の世帯訪問事業を実施しているが、結果に結びついていないため、今後も啓発を中心に事業展開していく必要がある。</p>								
今後の取り組みの方向性および次年度の取り組み	<p>◆防犯、交通安全、防火防災すべてについて「自分の身は自分で守る」意識を持つことが必要であり、今後も引き続き啓発活動を行うとともに、防犯では、自主防犯パトロール隊の支援、防犯カメラ普及への支援、交通安全では、各種の安全教室や啓発活動及び交通安全施設の整備を実施し成果の向上を目指していく。また、北部地区への早期交番設置を目指し、豊田警察署等への要望を継続していく。</p> <p>◆防火防災については、女性消防団による一般家庭への防火訪問や防災意識の高揚のための防災マップの全戸配布を行い、自己防衛意識の高揚を図っていく。</p>								
	<p>(26年度の取り組み)</p> <p>行政区の防犯カメラ設置補助事業の推進、自主防犯パトロール隊支援、深夜防犯パトロール事業等の継続、防火訪問事業、防災行政無線のデジタル化の推進、自主防災会への支援</p>								
市民意識	重要度	高い	満足度	低い	平成24年度市民アンケート調査による				